

克己心 ～自分に負けない心～

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】
平戸市立平戸中学校
令和8年6月18日
文責 原田 誠 第10号

平戸市中総体（陸上競技）まで あと2日！



6月20日（土）、佐世保市総合グラウンド陸上競技場において、市中総体陸上競技大会が松浦市との合同で開催されます。大会を目前に控え、本校では出場選手の激励式を行いました。式では、キャプテンが大会に懸ける思いや目標を力強く発表しました。選手たちの熱意と決意が伝わる内容でしたので紹介します。



☆ 福本 健太さん

これまで中総体に向けて部員全員が目標をもって練習してきました。

中総体での目標は、「全員が県中総体に出場すること。」「一人でも多く大会新を出すこと。」そして、「今まで練習や大会など、いろいろなところで支えてくれた顧問の前田先生や保護者の方々に恩返しするために部員全員が全力を出すこと」です。応援よろしくお願いします。

陸上競技は、「走る・投げる・跳ぶ」という運動の基本となる力を競い、より速く、より高く、より遠くを目指す競技です。その日のコンディションが結果を大きく左右する競技でもあります。「心・技・体」をしっかり整え、自分のベストな状態で大会に臨んでください。

「県中総体への出場」を目標としながらも、何より皆さん一人一人にとって、この大会が「かけがえのない大会」になることを願っています。

また、この大会は、順位や記録を競うだけの場ではありません。これまで積み重ねてきた努力の成果を発揮し、自分自身の可能性に挑戦する舞台です。「やり切った」と胸を張って言える大会にしてください。0コマ1秒、1センチにこだわり、最後まであきらめず、自分の限界に挑戦してほしいと思います。

そして、支えてくださった家族や先生方、仲間への感謝を忘れずに競技に臨んでください。そうした皆さんの姿が、この大会を最高の大会にしてくれるはずです。平戸中学校の代表としての誇りを胸に、自信をもって競技場に立ってください。

皆さんの活躍と、競技を終えた後の最高の笑顔を心から期待しています。



5月 いいとこみつけ



学校だより第3号でお伝えしましたが、「いいとこみつけ」と題して、生徒一人一人のよさを積極的に見つけていこうという取組を進めています。今回は、5月分の一部を紹介します。

- ・美術室の黒板掃除係として、隅々まで丁寧に拭き上げ、とてもきれいにしてくれた。また、チョークの粉がたまっている棚なども進んで拭いてくれた。
- ・給食のおかず当番で、食缶に残らないよう最後まで丁寧につぎ分けていた。
- ・当番ではないにもかかわらず、給食台の台拭きを自主的に手伝ってくれた。
- ・朝だけでなく、いつも気持ちのよい挨拶をしてくれる。
- ・家庭学習のまとめ方が丁寧で、とても見やすい。
- ・自分で考えて行動できており、素晴らしい。
- ・苦手な牛乳も一生懸命飲んでいた。

（裏面に続く）

克己心

～自分に負けない心～

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】
平戸市立平戸中学校
令和8年6月18日
文責 原田 誠 第10号

- ・時間前に自分たちで考えて行動できていることが素晴らしかった。
- ・優しく、協調性をもって友人や教師と接している。
- ・授業開始前に教師が毎時間板書している「日付・曜日・天気」を、率先して引き受け、準備してくれている。
- ・扇風機の使用準備を進んで手伝ってくれた。
- ・教室の出欠ボードの記入を、係ではないにもかかわらず手伝っていた。
- ・理科の授業前にワークシートを配り始めたところ、すぐに「配りますよ」と声をかけて手伝ってくれた。
- ・3分前入室を強く意識して取り組んでいる。
- ・掃除に率先して取り組んでいる。自分の担当が早く終わると、他の生徒の手伝いもしている。
- ・シューズ持ち帰りの日には、生徒玄関で最後まで持ち帰りの呼びかけを一生懸命行っていた。
- ・わからないことがあると、授業終了後すぐに教師に質問し、理解を深めようと努めている。
- ・修学旅行の班会議で、仲間を思いやる言葉かけをしていた。
- ・黒板消しやテレビ台の移動を率先して行ってくれる。
- ・給食の時に、「先生、こぼれそうですよ」と気遣いの言葉をかけてくれた。
- ・朝と夕方の学級活動に、落ち着いて静かに取り組むことができている。

一見すると小さなことかもしれませんが、しかし、先生方は皆さんのそうした行動や思いやりをとてもうれしく感じています。

私自身も、先日、2年生のある生徒から「2年生になって朝に校長室の前を通らなくなり、校長先生への挨拶ができなくなりました。毎日の日課だったのに……」という言葉をかけてもらいました。その言葉が本当にうれしく、胸が熱くなりました。

私も、平戸中学校の生徒の良いところをこれからもたくさん見つけ、一人一人の成長につなげていきたいと思えます。

現在、器物破損などの悲しい出来事が続き、不安な気持ちを抱いている生徒もいることと思います。だからこそ、互いのよさを認め合い、笑顔の輪を広げていきましょう。皆さん一人一人の温かい言動が、より良い学校づくりにつながります。

お知らせ

前号でお知らせしました器物破損については、その後調査を進めてまいりましたが、現時点では事実関係を特定するに至っておりません。

この件について不安を感じている生徒・保護者様もおられます。特に、グラウンド整備用のトンボの破損につきましては、部外者による可能性も否定できないことから、今後は外部機関にも相談・協力をいただきながら、原因の究明と問題の解決に努めてまいります。

引き続き、生徒の安全・安心の確保に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。